

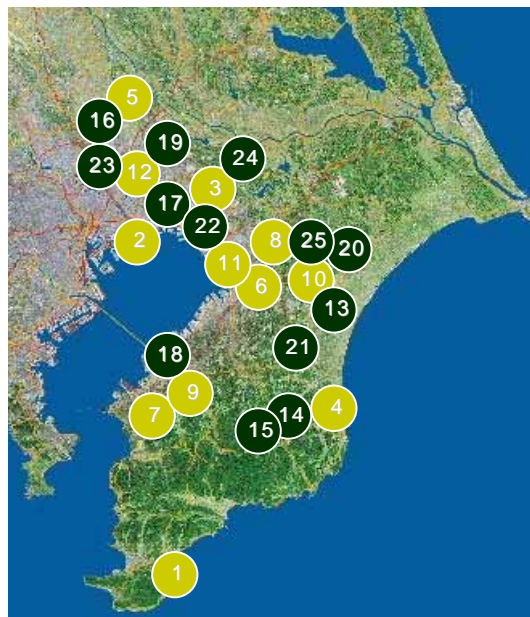
参考 . 環境共生建築物の事例

千葉県建築文化賞受賞作品から、県内の環境共生建築物の事例を紹介します。

ちば県の環境共生建築物

ちば県内には優れた建築物が多く存在しています。そういった建築物の表彰制度としてちば県建築文化賞が制定され、これまでに100事例余りの建築物が表彰されています。

ここでは、その優れた事例から特に環境共生の点で優れている建築物を紹介します。建物の新築や改修を行う時に、これらの好例を参考に見てみてはいかがでしょうか。



(凡例)
 住宅
 非住宅

1. 『千倉・海の住宅』1996 (南房総市) ~海風と太陽の家~

千倉の海辺に建つ住宅です。どの居室からも海の眺めが満喫できるよう工夫されています。

大きな窓から太陽の光と海風を取り入れる工夫をしています。



2. 『すだれの家』1998 (浦安市) ~環境を味方にした家~

浦安は海からの風がよく吹くので、風で電気を作っています。

また、日がよく当たるので、太陽で電気を作っています。

一方で、日差しが暑いので、日陰を作って冷房を使わないようにしています。

その他に・雨を流さずに、貯めて使う工夫をしています。



3. 『鬼越の家』1998（市川市） ～光と風の家～

市川市の落ち着いた街並みに溶け込むように建てられた住宅です。

住人のライフスタイルを理解した上で、自然採光、自然通風といった環境共生要素を付加し、入念に設計された住まいです。



4. 『志方邸』1998（いすみ市） ～冬でも窓が開けられる家～

黒潮の恵みで温暖ないすみ市に建つ住宅です。

中庭と一体となった間取りで風が抜ける工夫をしています。

居間と食堂を仕切るルーバーは冷暖房用のラジエーターで、輻射熱暖房によって真冬でも南北の開口部を開放した状態での生活が可能となっています。



5. 『江戸川台の家』2000（流山市） ～つくばおろしから守る家～

つくばおろしの影響がある流山市に建つ住宅です。

躯体蓄熱を採用し、寒い冬に熱を貯めて暖房に使う工夫をしています。

また、建具は3重ガラスサッシを採用し外に熱が逃げないように、閉じ込める工夫をしています。



6. 『中崎邸』2001(千葉市) ～省エネ診断の家～

千葉市郊外の緑に囲まれた地域に建つ住宅です。

自然採光、自然通風を目的としたライトコートを採用し太陽光発電や太陽熱利用も採用しています。

また、エネルギーの計測データを毎月記録しています。



7. 『中庭の家』2002(君津市) ～自然を取り込んだ家～

君津市の新しい街づくりが始まった分譲地に建つ住宅です。

自然素材で構成された室内は中庭を取り込んで自然採光・通風は勿論のこと、居ながらにして自然の全てが感じられるよう工夫された住宅です。



8. 『みつわ台の家』2004(千葉市) ～四方向から光が入る家～

千葉市の住宅地に建つ住まいです。四方向のハイサイドライトにより自然採光を欲しいままにしています。

45cm×12cm×5mの耐火木壁を開発・採用した耐火木造住宅でもあります。



9. 『瀧仙郷（森田邸）』2004（君津市）
～土地から生えてきた家～

房総の森の中に、その環境を楽しむために建てられた住宅です。

敷地の木をなるべく切らず、切った木は出来るだけ建築に利用した建物です。

自然採光・通風に配慮しながら心地よい環境を得た地産地消住宅です。



10. 『宇津木邸』2005（山武市）
～山武杉を使い尽くした家～

地域の森林から伐採される木材を地場で建築材料に加工して建てられた住宅です。

山武杉をとことん採用し、これを薪として暖房の燃料にも使用しています。

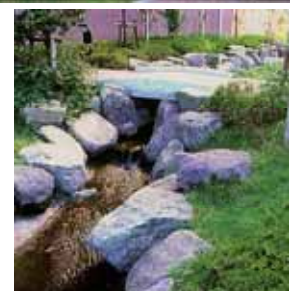
エアコンを必要としない地産地消住宅です。



11. 『ガーデンプラザ新検見川』1999（千葉市）
～都市と田園のゆるやかな融合～

花見川の河口から4kmほど内陸に入った緑豊かな丘陵地に広がる住宅地に建つ集合住宅です。

「都市と田園のゆるやかな調和」をテーマに地域の生態系調査をもとに、小川や池を整備し、ビオトープを計画しています。



1 住宅～2 建築物編

1 2 . 『エコビレッジ松戸』2001 (松戸市) ～環境共生を目指す高品位の集合住宅～

敷地内における既存樹木の保存を念頭に置き、自然採光・換気が効果的な配置計画を行い、超寿命建材やスケルトン・インフィルも採用しています。

氷蓄熱、多機能ヒートポンプ、深夜電力、蓄熱層などを設け、電力のピークカットを図っています。

このほか、高气密・高断熱、屋上緑化、ビオトープなど多彩は試みがなされた集合住宅です。



1 3 . 『木と住まいの情報館モクイチ』2002 (東金市) ～木造文化継承建築～

美しい木肌をもつ地元産の山武杉を用いて地元の大工が地元の風土に合った建物を作った事例です。

出来るだけ金物を使わずに材木を接合し、建設する過程で木造建築の技術が多くの人たちの共有財産として技術継承されました。



1 4 . 『大多喜町立大多喜小学校』1997 (大多喜町) ～畳のある学校～

城下町大多喜町に建てられた小学校です。

トップライトによる自然採光や調湿性のある畳を利用した畳コーナーなどが設けられています。



15. 『大多喜町立老川小学校』2001
 (大多喜町)
 ~身近な地産材小学校~

養老溪谷の豊かな自然に恵まれた地域に建設された小学校です。

地産材の杉を使用し、地域の交流スペースとしても活用されています。



16. 『麗澤幼稚園』2002 (柏市)
 ~四季と教育の変化に柔軟な幼稚園~

緑豊かな大学キャンパス内に建てられた幼稚園です。

冬は太陽熱、夏は夜間冷気を取り込み、四季を通じて快適な室内環境を作り上げています。

また、天然材料を採用し、各保育室間の間仕切りは容易に撤去が可能で、様々な授業形態へ対応する工夫がされています。



17. 『日本大学工学部テクノフレース15』2002
 (船橋市)
 ~太陽を味方につけた大学校舎~

日大・船橋キャンパス内に建つ、実験・実習校舎です。

膜構造の屋根による自然採光を図り、地域に開放された大学施設となっています。



2 建築物編

18. 『君津市保健福祉センターふれあい館』1999 (君津市)

～四季に順応したふれあい館～

君津駅近くの区画整理された地域に建つ保健福祉センターです。中折れ式電動ルーバーを採用し、遮光、採光・通風を調節し、変化する四季の自然外気の調整が出来るよう工夫されています。



19. 『アミューゼ柏』1999 (柏市)

～人工と自然が融合した文化施設～

柏市の市街地の一角に建つ文化施設です。建物の中心に自然光を取り入れたアトリウムを配置し、屋上には緑の庭園を設けて人工と自然の融合を追及した環境デザインに工夫がみられます。



20. 『東金市保健福祉センター』2002 (東金市)

～人と環境にやさしい福祉センター～

東金市の緑豊かな丘陵地に建つふれあいセンターです。

自然素材を積極的に活用しています。ハイサイドライトによる自然採光を行い、また、ペアガラス、ルーバーを採用し、熱負荷の低減も計画しています。

雨水利用による省エネ・省資源など、多くの試みがなされている福祉センターです。



2 1 . 『千葉県木材市場協同市場販売用建物』1998
(東金市)

～作業に必要な環境を自然から享受する～

東金市の山武杉に覆われた丘陵地に整備された木材販売用建物です。

屋根にトップライトとスリットを設け、自然採光・自然通風・自然換気を行っています。

作業環境をエネルギーを使わずに確保する工夫をしています。



2 2 . 『日本大学工学部船橋校舎14号館』2005
(船橋市)

～建築環境教育の拠点～

意欲的な大学施設建築に実績のある日大・船橋キャンパスの校舎です。ソーラーチムニー（自然換気）、クール・ウォームチューブ（地熱利用）、太陽光発電等を採用した大学校舎です。建築を学ぶ学生たちの生きた教科書として日常的な生活に溶け込んでいます。



2 3 . 『マブチモーター株式会社本社棟』2005
(松戸市)

～建築と設備の融合による省エネ建築～

緑豊かな八柱霊園に隣接する地域に建てられたオフィスビルです。

建物中央のアトリウムから自然採光を行うと共に、壁面のガラスはダブルスキンサッシを採用し、空調負荷の低減を図っています。

この他に、自然採光・通風、外気冷房、氷蓄熱、昼光照明制御、個人で風量調節できるタスク空調などを駆使して効率的な省エネを実現しています。



2 建築物編

24. 『東京大学柏キャンパス 新領域環境棟』2006（柏市） ～省エネ技術&自然エネルギー活用による環境学研究のシンボル～

柏の葉公園に隣接する緑豊かなキャンパスに建つ大学校舎です。

各方位の日射特性に応じて異なる形状のルーバーを設置し有効に日射・自然採光を行っています。

また、ソーラーチムニーによる自然換気や地中熱を利用した輻射熱冷暖房を採用した上、研究活動の変化に柔軟に対応できるようにSIを採用し長寿命化を図っています。



25. 『千葉市白井公民館・若葉図書館泉分館』2006 （千葉市）

～自然材料と自然エネルギーの生涯学習拠点施設～

泉自然公園付近の緑の多い地域に建つ公民館と図書館の複合施設です。

県内産の木材や珪藻土といった自然材料やリサイクル材料を積極的に採用しています。

また、自然採光、太陽光発電、雨水利用等を採用し、自然エネルギーを有効に活用しています。



建築文化賞受賞作品リスト（抜粋）

NO	受賞年度	受賞建物		
		名称	所在地	用途
1	1996	千倉・海の住宅	南房総市	住宅
2	1998	すだれの家	浦安市	
3	1998	鬼越の家	市川市	
4	1998	志方邸	いすみ市	
5	2000（奨励賞）	江戸川台の家	流山市	
6	2001（奨励賞）	中崎邸	千葉市	
7	2002（奨励賞）	中庭の家	君津市	
8	2004	みつわ台の家	千葉市	
9	2004（奨励賞）	瀧仙郷（森田邸）	君津市	
10	2005（奨励賞）	宇津木邸	山武市	
11	1999	ガーデンプラザ新検見川	千葉市	
12	2001	エコビレッジ松戸	松戸市	
13	2002	木と住まいの情報館 モクイチ	東金市	非住宅
14	1997	大多喜町立大多喜小学校	大多喜町	
15	2001	大多喜町立老川小学校	大多喜町	
16	2002（奨励賞）	麗澤幼稚園	柏市	
17	2002	日本大学理工学部テクノスペース15	船橋市	
18	1999	君津市保険福祉センターふれあい館	君津市	
19	1999	アミュゼ柏	柏市	
20	2002	東金市保健福祉センター	東金市	
21	1998（奨励賞）	千葉県木材市場協同組合販売用建物	東金市	
22	2005	日本大学理工学部船橋校舎14号館	船橋市	
23	2005	マブチモーター株式会社本社棟	松戸市	
24	2006	東京大学柏キャンパス 新領域環境棟	柏市	
25	2006（奨励章）	千葉市白井公民館・若葉図書館泉分館	千葉市	

ちば環境共生建築物整備指針策定検討委員会

- 委員長 岩村 和夫（武蔵工業大学 環境情報学部教授）
委員 川瀬 貴晴（千葉大学 工学部デザイン工学科建築系教授）
委員 中澤富美子（ストップ地球温暖化千葉推進会議 地球温暖化防止推進員）
委員 岡田 博美（社団法人 千葉県建築士会 女性委員会委員）
委員 諏佐 庄平（財団法人 建築環境・省エネルギー機構 建築研究部長）

環境共生住宅の参考ホームページ

財団法人 建築環境・省エネルギー機構（CASBEEの窓口） <http://www.ibec.or.jp/>
CASBEEに関する最新情報や次世代省エネ基準適合住宅の評定などが掲載されています。

財団法人 新エネルギーセンター <http://www.nef.or.jp/>
新エネルギーに関する解説やパンフレットなどが掲載されています。

財団法人 省エネルギーセンター <http://www.eccj.or.jp/>
分野ごとの省エネルギーのポイントなどが掲載されています。

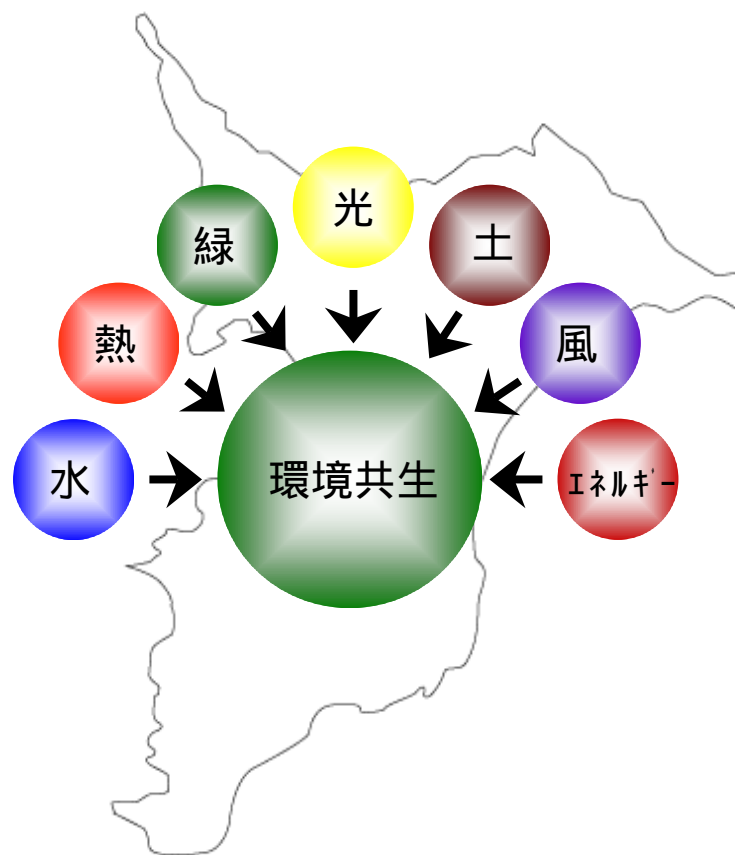
財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター <http://www.chord.or.jp/>
住宅性能表示制度に関する解説などが掲載されています。

全国地球温暖化防止活動推進センター <http://www.jccca.org/>
地球温暖化に関する基礎知識、取組事例、学習素材などが掲載されています。

環境共生住宅推進協議会 <http://www.kkj.or.jp/#>
環境共生住宅に関する解説などが分かりやすく掲載されています。

資源エネルギー庁 <http://www.enecho.meti.go.jp/>
省エネルギー対策、新エネルギー対策など総合的な資源戦略などが掲載されています。

気象庁 <http://www.jma.go.jp/jma/>
各種気象データや地球温暖化に関するデータなどが掲載されています。



平成19年 月(第1版)